

平成30年度 地方創生推進交付金に関する事業と評価

対象事業の名称	本事業における重要業績評価指標(KPI)				本事業終了後における実績値		平成30年度の取り組み内容
	指標	指標値	単位	目標年月	実績値	事業効果	
いい那珂暮らし魅力発信 定住促進事業	指標①	(定住関連事業を活用した) 移住者数	260	人	H31.3	208	①シティプロモーション推進事業 ・いい那珂暮らし応援団運営(交流会イベント等) ・市及び市民の双方向情報発信実証実験 ・WEBマガジン(移住ポータルサイト)運営 ・水郡線及び水戸駅への広告掲出 ・イバラキセンスを活用したイベントの開催 ②いい那珂暮らし促進事業 ・相談窓口開設・運営 (企業コーディネーター、移住相談員の配置) ・移住体験ツアーの実施 ・住まいづくりフェアの開催 ・お試し居住の設置・運営 ・移住パンフレット改訂
	指標②	移住関連プログラムへの参加者数	80	人	H31.3	78	
交付決定額:12,317千円 実績額:10,701千円	指標③	いい那珂暮らし応援団員による情報発信件数	170	件	H31.3	115	
事業概要	本市の特性である住みよさや交通の利便性について、「いい那珂暮らし応援団」を設立し官民協働で魅力を発信するシティプロモーションを推進し、市の認知度関心度向上及び交流人口増を図ると共に、関心を持った人に対しては、移住や仕事のワンストップ相談窓口の開設による相談体制の強化や移住体験プログラム(移住ツアー、お試し居住)を実施し、住宅取得助成制度や、創業支援、企業支援なども含め雇用の確保、定住人口増への取組を強化する。						

※事業効果・・・ A:「非常に効果的であった」(目標値以上)、B:「相当程度効果があった」(目標値の7割程度)、C:「効果があった」(目標値以下(改善あり)) D:「効果が無かった」(目標値以下(改善なし・悪化))

有識者会議委員の評価		実績値を踏まえた令和元年度以降事業の今後について	
事業の評価	有識者からの意見	今後の方針	今後の方針
総合戦略のKPI達成に有効であった	①シティプロモーション推進事業 ・いい那珂暮らし応援団を中心とした新たな交流イベントによる更なる推進を。 ・子育て・教育も市の特長となり得るので、ほかにないユニークな教育の取組を検討してはどうか。 ・JRを利用したプロモーションは継続すべき。車内広告、デジタルサイネージ以外にも、水郡線ジャックや駅舎を利用したポスター展などを検討してはどうか。 ・那珂市の学生を巻き込んで、那珂市のいいところ発見や、独自の産品開発などにつなげてはどうか。 ・ふるさと那珂市を自信を持って語れる市民の育成を。小中学生、高校生にも那珂市を知る体験を導入してはどうか。 ②いい那珂暮らし促進事業 ・移住支援制度の周知に努めるとともに、関係人口創出の事業や市の暮らし・住まいしごとが見える取組を強化すべき。 ・いい那珂暮らし応援団のWEB更新をスピーディーに(より簡単に更新できる方法も模索すべき)。 ・女子学生など「街の編集者」による那珂市のいいところや宝物探し、地域資源を活用した体験教室で関係人口創出、那珂市で遊ぶ・暮らすインパクト動画の作成など、検討してはどうか。	更に発展させる	シティプロモーション体制及び仕事と移住の相談体制を強化し、移住や関係人口に係る新たな事業を実施する。 ①シティプロモーション推進室の設置 ・いい那珂暮らし応援団運営(交流会イベント等) ・市及び市民の双方向情報発信実証実験 ・WEBマガジン(移住ポータルサイト)運営 ・イバラキセンスを活用したイベントの開催 ②いい那珂暮らし促進事業 ・相談窓口運営 (企業コーディネーター、移住相談員の配置) ・農業体験ツアーの実施 ・住まいづくりフェアの開催 ・お試し居住の運営 ・サテライトオフィス誘致戦略策定 ・創業支援施設の設計 ※今年度より新たなプロジェクトで事業を展開する。